

エコアクション21 環境経営レポート

2022年度（第42期）



対象期間：2022年1月1日～2022年12月31日

2023年3月29日 発行

ガーディアンジャパン株式会社

INDEX
(目次)

- P1 目次
- P2 組織の概要と対象範囲
- P3 実施体制と役割・責任・権限
- P4 経営理念、環境経営方針
- P5 環境経営目標
- P6 環境経営計画
- P7 環境経営目標の実績
- P8 環境目標及び取り組みの結果
- P9 環境目標及び取り組みの結果-2
- P10 代表者による全体評価と見直し・指示

1. 組織の概要

- 1-1. 事業所名 ガーディアンジャパン株式会社
- 1-2. 代表者氏名 小松 正幸
- 1-3. 所在地 「本社、東京サービスセンター」
〒177-0033東京都練馬区高野台2-4-3
TEL:03-3904-6282 FAX:03-3904-6297
「技術センター」
〒177-0033東京都練馬区高野台2-27-7-101
TEL:03-3904-6230 FAX:03-3904-6249
「新潟サービスセンター」
〒957-0016新潟県新発田市豊町3-3-12
TEL:0254-24-7543 FAX:0254-24-7544
「岩手サービスセンター」
〒029-3403岩手県一関市藤沢町砂子田字高田109
TEL:0191-61-1677 FAX:0191-63-5531
- 1-4. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)
・最高責任者 代表取締役社長 小松 正幸
・環境管理責任者 品質管理室：清水 忠夫
連絡先：TEL:03-3904-6230
- 1-5. 創立年月 1981(昭和56)年 11月
- 1-6. 事業年度 1月1日 ~ 12月31日
- 1-7. 事業規模 資本金 7,400万円

年間売上合計	
2020年度	700百万円
2021年度	780百万円
2022年度	772百万円
従業員	54名
工場敷地面積	248.50㎡(本社)・150㎡(技術センター)・ 368.20㎡(新潟TC)・125.07㎡(岩手TC) 全体(891.77㎡)

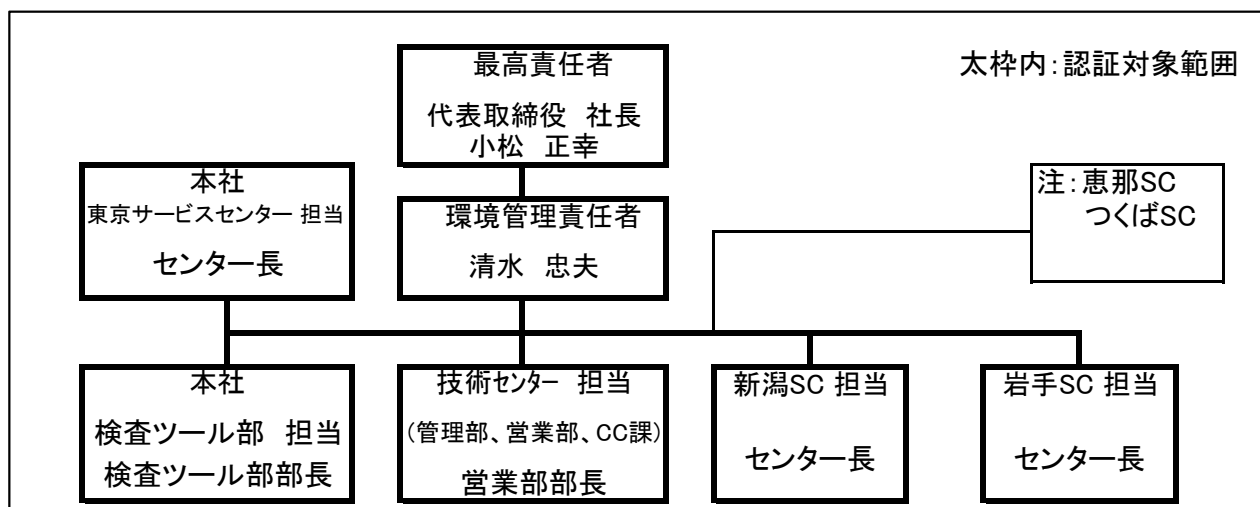
- 1-8. 事業の内容
プリント基板検査サービス(検査データ作成及び治具作製を含む)
及び検査設備販売保守、ソフトウェアの販売保守

1-9. 事業組織

枠内：認証・登録対象組織	2022年度(2023/1/1 現在)
本社・東京サービスセンター	15名
技術センター	9名
新潟サービスセンター	5名
岩手サービスセンター	5名
(計)	34名

恵那サービスセンター 14名
つくばサービスセンター 6名

2. EA21環境経営組織図



- 注：・恵那サービスセンターは、RITAエレクトロニクス(株)様内での検査業務の為、RITAエレクトロニクス(株)様社内基準での活動。(14名)
 ・つくばサービスセンターは、リンクステック(株)様石岡工場内での検査業務の為、リンクステック(株)様基準での活動。(6名)

2-1 役割責任及び権限

職名	役割 及び 権限
最高責任者	1. 環境経営方針の制定、誓約及び従業員への周知 2. 環境管理責任者及び、必要な責任者を任命する。 該当責任者には、現在の職責に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 3. EA21の構築・運用・維持に必要な環境経営資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）の確保 4. 是正・予防処置発生時のフォロー、及び指示 5. 全体の取組状況の評価と見直しを行い、必要に応じ改定を指示する
環境管理責任者	1. EA21活動全般の施策・運用 2. EA21の実施記録を経営者に報告 3. 各種環境関連文書の記録の管理 4. 環境関連法規の遵守に関する教育 5. 環境経営レポートの作成、公表
部門責任者	1. 環境経営目標に即した自部門の環境経営計画の策定・実施 2. 自部門の環境経営計画の実施状況を環境管理責任者に報告 3. 自部門の一般社員に対する環境教育の実施
全社員	1. 環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚する 2. 決定事項を周知徹底し、積極的に環境活動へ参加する 3. 担当項目以外の環境保全活動への協力 4. 環境関連法規に関する知識習得及びその遵守 5. 活動を通じての部門責任者、環境管理責任者への提案 6. 各家庭における環境教育の実施

3 経営理念

ガーディアンジャパン株式会社は、社会生活の利便性を向上させる電子機器の一翼を担うプリント配線基板業界への製造設備・治工具の販売、検査サービスの提供を通じ、自然・生命・社会と共存できる環境調和の企業活動を推進し、環境の保全と環境経営の継続的な向上を図るよう行動いたします。

4 環境経営方針

行動指針

1. 環境負荷の低減を継続的に行い、環境汚染の防止に努めます。
2. 事業活動に関連する諸法令を遵守するとともに、高い職業倫理観をもって環境に配慮した事業活動を行います。
3. 本方針は、組織に関わる全員に周知徹底いたします。
4. 経営における課題とチャンスを踏まえた目標設定に努める。

取り組み

- ・省エネルギーの推進。
- ・リサイクルの促進により、廃棄物の低減と適正処理に努めます。
- ・ペーパーレスの推進。
- ・環境に配慮した資材・製品の購入、使用を促進する。
- ・化学物質の管理に関する要求には充分取り組む。(SDS等)

制定日： 2010年10月21日

確認日： 2023年2月6日

代表取締役 社長
小松 正幸

5 環境経営目標

EA21コア指標	環境経営方針	取組項目	中長期の環境経営目標 (2022年まで)	2020年 目標	2021年 目標	2022年 目標	2023年 目標
エネルギーの消費	地球温暖化 の防止 (省エネ推進)	電気使用量の 現状維持 (kwh)	電力の消費総量は10年:57 万Kwh(2010年度CO2排出 量の5%減を目指す)/2019 年度までに-34.5%と大幅な 達成が出来たため、更に約 5%の削減を目指す。更に 継続、維持する。	2020年 38万Kwh	2021年 37万Kwh	2022年 36万Kwh	2023年 36万Kwh
化石燃料等の燃焼		ガソリン量の 現状維持(L)	ガソリンの消費総量は10 年:6,724L(2010年度CO2排 出量の15%減を目指す)/ 2019年度までに-55.7%と大 幅な達成が出来たため、更 に約10%の削減を目指す。	2020年 3,000L	2021年 2,800L	2022年 2,600L	2023年 2,600L
産業廃棄物の排出	産業廃棄物 処分場の 負荷低減	産業廃棄物の 排出量の 現状維持(t)	産業廃棄物は 10年:8t (2014年度技術センター縮小 の為、2t減少)更に現状維 持をすすめる。	2020年 6t	2021年 6t	2022年 6t	2023年 6t
紙の消費	ペーパーレ スの推 進	コピー用紙使 用量の現状維 持(枚)	紙の使用総量は 10年:9.75万→6.25万枚 (2010年比で-35.9%減)更に減少を目指す。	2020年 70,000枚	2021年 68,000枚	2022年 65,000枚	2023年 62,000枚
CO2 削減目標						2022年 174,728(kg- CO2)	
■各拠点に於いて、すべての検査設備に関して、日々点検を行う。					2022年、実施されていた。 (On Trackにて確認)		
■フロン排出抑制法に伴う空調機の簡易点検(3か月に1回以上、年4回以上実施)					2022年は、 4月、6月、9月、12月 実施		

- 水の削減に関しては、生活使用のみですが、節水等の掲示等により推進いたします。
- 化学物質に関しては現在ほぼ使用しておりませんが、監視対象といたします。

6 環境経営計画

2022年度 ガーディアンジャパン株式会社 環境経営計画書(本社・技術・新潟・岩手)

特定した環境負荷		二酸化炭素量(負荷の自己チェックシートから)										
環境方針		地球温暖化の防止のため環境負荷を低減させる(省エネルギーの推進)										
環境目標		電力使用量・燃料使用量による二酸化炭素の削減										
	基準年度 比(%)	電力CO2		ガソリンCO2						CO2排出量合 計 kg-CO2		
		kWh	kg-CO2	L	kg- CO2							
基準年度	2010	100	584,378	303,584	6,724.0	15,600						319,184
目標	2020	68%	380,000	169,100	3,000.0	6,960						176,060
	2021	65%	370,000	164,650	2,800.0	6,496						171,146
	2022	62%	360,000	168,696	2,600.0	6,032						174,728
CO2換算係数(注)			0.4686	Kg-CO2/kWh		2.32		kg-CO2/l				
							排出係数 ガソリン	2.32		kg-CO2/l		
							排出係数 軽油	2.58		kg-CO2/l		

■2022年度用CO2換算係数： 東京電力： 0.457 東北電力： 0.496 (注)：東京電力、東北電力 使用量に基づく平均

活動目標 (達成手段)	目 標	スケジュール													
		2022年													
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
電力の節約	(取組の自己チェックシートから)														
	・社員への電気節約の周知	<											>		
	・クールビズ・ウォームビズ運動	<											>		
	・冷房温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	<											>		
	・不使用エリアや共通部の照明間引き・消灯	<											>		
	・パソコン・プリンタの未使用時の電源オフ	<											>		
ガソリンの節約	・ERIAで使用電力も見える化で節電	<											>		
	・社員へのガソリン節約の周知	<											>		
	・エコドライブの推進(タイヤ空気圧の確認)	<											>		
	・エコドライブの推進(燃料・走行距離記録)	<											>		
産廃の削減	・暖気運転・アイドリングの最少化	<											>		
	・歩留まり向上	<											>		
用紙の節約	・ペーパーレスの推進	<											>		
	・両面コピーの推進	<											>		
水消費削減	・節水をいつも意識する	<											>		
設備保守	・すべての検査設備の日々点検を行う	<											>		
パフォーマンス 目標1	基準年 (2010年度)	電力	月別 (KWh)	43,581	57,328	48,044	42,326	37,873	42,590	50,938	62,721	66,222	49,932	41,339	39,484
		ガソリン	月別 (L)	636	576	477	505	680	513	812	366	762	567	515	315
		CO2	月別 (kg-CO2)	25,446	32,868	27,532	24,452	22,409	24,616	29,901	35,346	38,191	28,779	23,932	22,448
			累計 (kg-CO2)	25,446	58,314	85,846	110,298	132,707	157,323	187,224	222,570	260,761	289,540	313,472	335,920
	目標値 (2022年度)	電力	月別 (KWh)	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
		ガソリン	月別 (L)	217	217	217	217	217	217	217	217	217	217	217	217
	CO2	月別 (kg-CO2)	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	
		累計 (kg-CO2)	14,561	29,121	43,682	58,243	72,803	87,364	101,925	116,485	131,046	145,607	160,167	174,728	
パフォーマンス 目標2	基準年 (2010年度)	産廃排出量	月別 (t)	0	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0
	目標値 (2022年度)	産廃排出量	月別 (t)	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2
			累計 (t)	0	0	0	2	2	2	2	4	4	4	4	6
	基準年 (2010年度)	コピー用紙 使用量	月別 (枚)	7,500	7,500	12,500	2,500	10,000	0	12,500	7,500	5,000	17,500	2,500	12,500
	目標値 (2022年度)	コピー用紙 使用量	月別 (枚)	5,300	5,300	5,500	5,500	5,300	5,500	5,500	5,300	5,500	5,500	5,500	5,300
			累計 (枚)	5,300	10,600	16,100	21,600	26,900	32,400	37,900	43,200	48,700	54,200	59,700	65,000

7 環境経営目標の実績

2022 年度 ガーディアンジャパン株式会社 環境経営の実績(本社・技術・新潟・岩手)

特定した環境負荷	二酸化炭素量(負荷の自己チェックシートから)							
環境方針	地球温暖化の防止のため環境負荷を低減させる(省エネルギーの推進)							
環境目標	電力使用量・燃料使用量による二酸化炭素の削減							
		電力CO2		ガソリンCO2				CO2排出量合計
	基準年度比(%)	kWh	kg-CO2	L	kg-CO2			kg-CO2
基準年度	2010	100	584,378	303,584	6,724.0	15,600		319,184
	2020	68%	380,000	169,100	3,000.0	6,960		176,060
目標	2021	65%	370,000	164,650	2,800.0	6,496		171,146
	2022	62%	360,000	168,696	2,600.0	6,032		174,728
CO2換算係数(注)		0.4686 Kg-CO2/kWh		2.32 kg-CO2/l				
				排出係数 ガソリン	2.32	kg-CO2/l		
				排出係数 軽油	2.58	kg-CO2/l		

■2022年度用CO2換算係数 ; 東京電力: 0.457 東北電力: 0.496 (注):東京電力、東北電力 使用量に基づく平均

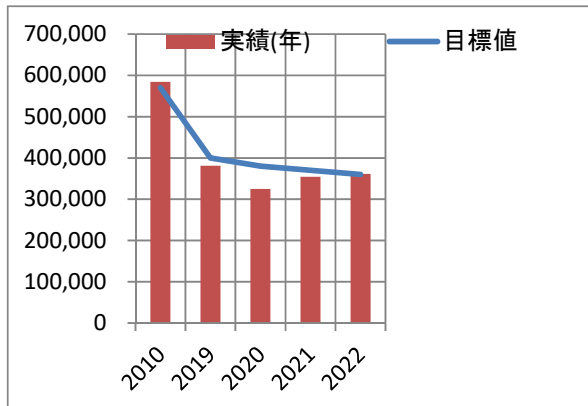
目 標		スケジュール													
		2022年													
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
活動目標 (達成手段)	(取組の自己チェックシートから)														
電力の節約	・社員への電気節約の周知	<											>		
	・クールビズ・ウォームビズ運動	<											>		
	・冷房温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	<											>		
	・不使用エリアや共通部の照明引き・消灯	<											>		
	・パソコン、プリンタの未使用時の電源オフ	<											>		
	・ERIAで使用電力も見える化で節電	<											>		
ガソリンの節約	・社員へのガソリン節約の周知	<											>		
	・エコドライブの推進(タイヤ空気圧の確認)	<											>		
	・エコドライブの推進(燃料・走行距離記録)	<											>		
	・暖気運転・アイドリングの最少化	<											>		
産廃の削減	・歩留まり向上	<											>		
用紙の節約	・ペーパーレスの推進	<											>		
	・両面コピーの推進	<											>		
水消費削減	・節水をいつも意識する	<											>		
設備保守	・すべての検査設備の日々点検を行う	<											>		
パフォーマンス 目標1	基準年 (2010年度)	電力	月別 (KWh)	43,581	57,328	48,044	42,326	37,873	42,590	50,938	62,721	66,225	49,932	41,339	39,484
		ガソリン	月別 (L)	636	576	477	505	680	513	812	366	762	567	515	315
		CO2	月別 (kg-CO2)	25,446	32,868	27,532	24,452	22,409	24,616	29,901	35,346	38,191	28,779	23,932	22,448
			累計 (kg-CO2)	25,446	58,314	85,846	110,298	132,707	157,323	187,224	222,570	260,761	289,540	313,472	335,920
	目標値 (2022年度)	電力	月別 (KWh)	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
		ガソリン	月別 (L)	217	217	217	217	217	217	217	217	217	217	217	217
		CO2	月別 (kg-CO2)	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561	14,561
			累計 (kg-CO2)	14,561	29,121	43,682	58,243	72,803	87,364	101,925	116,485	131,046	145,607	160,167	174,728
	実績値 (2022年度)	電力	月別 (KWh)	32,947	38,841	33,401	28,594	25,564	31,848	34,526	33,531	30,395	24,281	23,085	24,306
		ガソリン	月別 (L)	169	108	239	192	179	145	142	165	111	189	232	154
	CO2	月別 (kg-CO2)	15,828	18,451	16,205	13,845	12,391	15,260	16,509	16,094	14,501	11,818	11,355	11,747	
		累計 (kg-CO2)	15,828	34,279	50,484	64,329	76,720	91,980	108,489	124,584	139,084	150,902	162,257	174,004	
パフォーマンス 目標2	基準年 (2010年度)	産廃排出量	月別 (t)	0	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0
	目標値 (2022年度)	産廃排出量	月別 (t)	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0
			累計 (t)	0	0	0	2	2	2	2	4	4	4	4	6
	実績値 (2022年度)	産廃排出量	月別 (t)	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0
			累計 (t)	2	2	2	4	4	4	4	4	4	6	6	6
	基準年 (2010年度)	コピー用紙 使用量	月別 (枚)	7,500	7,500	12,500	2,500	10,000	0	12,500	7,500	5,000	17,500	2,500	12,500
目標値 (2022年度)	コピー用紙 使用量	月別 (枚)	5,300	5,300	5,500	5,500	5,300	5,500	5,500	5,300	5,500	5,500	5,500	5,300	
		累計 (枚)	5,300	10,600	16,100	21,600	26,900	32,400	37,900	43,200	48,700	54,200	59,700	65,000	
実績値 (2022年度)	コピー用紙 使用量	月別 (枚)	15,000	5,000	0	7,500	0	0	15,000	0	5,000	2,500	0	5,000	
		累計 (枚)	15,000	20,000	20,000	27,500	27,500	27,500	42,500	42,500	47,500	50,000	50,000	55,000	
CO2削減 実績評価	電力	0.37 %	2022年度は、目標値360,000kwhに対し実績値kwhで、0.37%と僅かながら増加となった。											△	
	ガソリン	-22.25 %	2022年度は、目標値2,600Lに対して実績値で、-22.25%の達成になった。											○	
	CO2	-0.41 %	2022年度は、目標値174,728kg-CO2に対して実績値kg-CO2で、-0.41%の達成になった。											○	
管理者総合評価(環境活動レポートへ転記)		ガソリン使用量は減ったが、電力使用量が増え、CO2排出係数も前年よりアップした事で僅かな削減に終わった。紙の使用も減り、目標値の-15.4%削減になった。各種設備点検は100%実施された。													
累積値	目標値 (2022年度)	電力	月別 (KWh)	30,000	60,000	90,000	120,000	150,000	180,000	210,000	240,000	270,000	300,000	330,000	360,000
		ガソリン	月別 (L)	217	433	650	867	1,083	1,300	1,517	1,733	1,950	2,167	2,383	2,600
	実績値 (2022年度)	電力	月別 (KWh)	32,947	71,788	105,189	133,783	159,347	191,195	225,721	259,252	289,647	313,928	337,013	361,319
	ガソリン	月別 (L)	168	275	514	706	884	1,029	1,171	1,335	1,446	1,636	1,867	2,022	
		2022年度 電力CO2排出量 (kg-CO2)	15,439	18,201	15,652	13,399	11,979	14,924	16,179	15,713	14,243	11,378	10,818	11,390	
		2022年度 電力CO2排出量 (kg-CO2) 合計:	169,314												
		2022年度 ガソリンCO2排出量 (kg-CO2) 合計:	4,691												
		2022年度 新潟サービスセンター 軽油分	0												
		2022年度 CO2排出量 (kg-CO2) 総合計:	174,005												

*トラック廃車に伴い今年度の軽油調達は無し

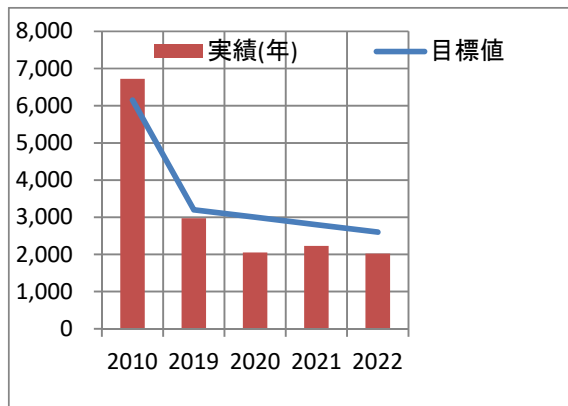
8 環境経営計画の取組み結果(2022.1~2022.12の12ヶ月)

8-1 地球温暖化防止の観点から「省エネ推進」を掲げ、電気使用量を基準年(2010)比-38.2%(2022)となり、2021年度実績値比では11.25%の増加、**対目標値では+0.37%の微増**になった。
 同じく、地球温暖化防止の観点から「化石燃料の使用抑制」を掲げ、ガソリン使用量を基準年(2010)比-69.9%(2021)削減、また、**対目標値では-28.6%の減少**になった。

電気使用量(Kwh) **↑ +0.37%(対目標値)**

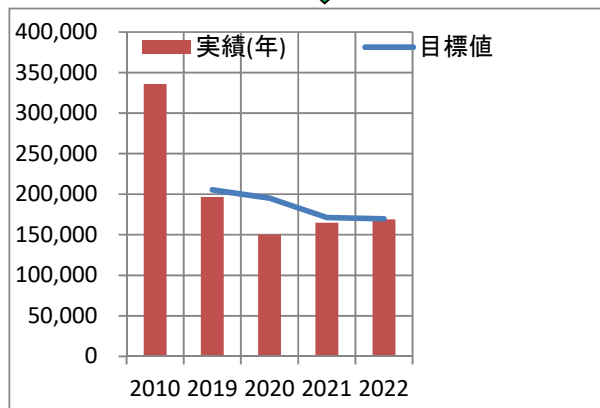


化石燃料(l) **↓ -28.6%(対目標値)**

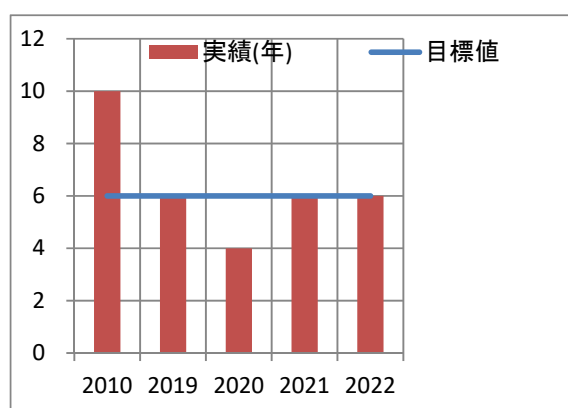


8-2 「省エネ推進による電気使用量減」と「化石燃料の使用抑制によるガソリン使用量減」の効果で合わせた二酸化炭素排出量(CO2)は、**対目標値では-0.41%の減少**になった。

二酸化炭素排出量(CO2) **↓ -0.41%(対目標値)**

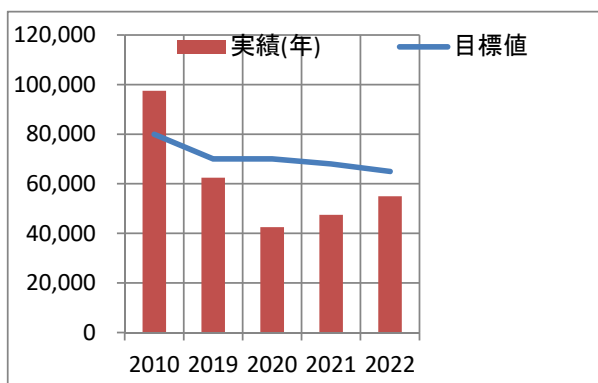


産業廃棄物(t) **0%(対目標値)**



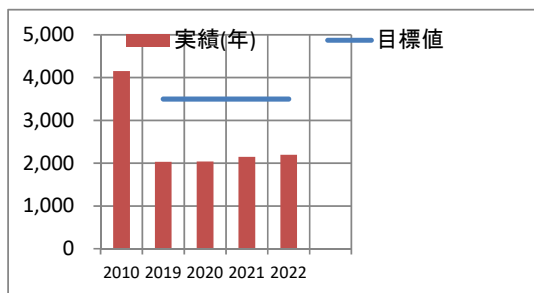
8-3 産業廃棄物は、前年と同等の排出量と成った。
 お客様の治具解体後、長期に保存していたバラシ板の廃棄、及び、治具作製の注文が増えた事で当て板等の廃棄物が増える事と成った。
 8-4 紙の使用総量は基準年(2010)の-43.3%(2022)、2021年度実績値比では+29.5%の増加であった。受注量の増加によるものと思われる。目標値に対しては、目標が達成できた。

紙使用総量(枚) **↓ -15.4%(対目標値)**



- 8-5 プラスチック廃材は、リサイクルの推進継続により、取組み当時からはかなり減ってきている。前年比はほぼ同じであった。

プラスチック廃材 (㎡)



- 8-6 設備保守：検査装置は日々、月次、年次保守を実施する事で長期に停止する事態は発生しなかったが、ドリルマシンなど、新型コロナの影響も有り必要な修理部品調達に時間を要する状況があった為、アフターサービス業者へ主要部品の在庫確保を御願いました。

8-7 次年度の取り組み内容

現在の環境目標の更なる達成を目指して、継続して取り組みます。

- ① 2022年度の電力使用量は、受注が増えた事で機器、空調の稼働時間が長くなり結果として前年より僅かでは有るが増えてしまった。
今後の受注量との兼ね合いになりますが、必要以上の増加にならないように啓蒙していきます。
また、ガソリン使用量は年々減少しているが、公共交通機関を利用する等で更なる削減に繋げる。
- ② 産業廃棄物は前年同水準で有った。治具作製受注が増えた事により廃棄物も増える傾向に有る。
コピー用紙の使用量は、受注増により顧客への提出書類が増え、結果として増加する事と成った。
時代の流れに則り、電子化された書類に切替出来るかに掛かって来る。

9 環境関連法規等への違反・訴訟などの有無

「環境関連法規制等管理表(遵守評価記録)」による自己チェック結果

当社が該当する、「産業廃棄物処理法」、「化学物質管理法」、「自動車No/xP法」、「フロン排出抑制法」、「容器包装リサイクル法」、「家電リサイクル法」、「グリーン購入法」までの7法令の要求事項に関して、2023年3月2日にエコアクション21事務局(品質管理室内)によりチェックを実施した結果、抵触する事項は0件であり、早急な改善を要する事項も0件でありました。

また、緊急事態の発生も今年度は0件でありました。

2022年度の「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第6項の規に基づき、東京都知事宛に4月以降に提出します。

外部の関連機関等からの各種環境関連法規制等に抵触する旨の指摘及び訴訟は1件もありませんでした。

10 代表者による全体評価と見直しの結果

- 2023年3月10日に全体の見直しを行い、評価の結果は以下の通りです。
- どの取組みも目標値に対しては削減出来たが、ガソリン使用量を除き増加か同等と成った。しかし、これは受注増に伴う消費の増加によるもので有る。ただ、受注と売上を平準化する事が容易ではなく、売上に貢献するレベルに成らなかった。今後も削減を維持しながら売上の上昇を期待する。
 - ガソリン使用量は、ハイブリッド車の導入により二酸化炭素(CO2)の削減が継続されています。コロナ禍の継続で、出張が減っており、一部は公共交通機関に切替えた事も影響している。
1)社用車の1台が12月のリースアップに伴い車種入替えとなり、来期の削減が期待される。
2)新潟サービスセンターの軽油貨物車は昨年3月に廃車済
 - 電力使用量は、受注状況により左右される事で、現段階では永遠の課題と成るが、設備の更新や、空調の設定温度などを徹底して行く。
 - 今期も、環境関連法規及びその他の環境関連要求事項に対する違反等は無かった。今後とも該当する環境関連法規及びその他の環境関連要求事項を遵守させる。
 - 環境活動の重要性の理解は継続されていると思われる。

指示事項

今年度の目標は概ね達成されていますが、当社の環境目標に関わる各種数値は、受注動向により結果が左右される部分があるが、連続的な改善を続け二酸化炭素排出量の削減を維持しながら売上の上昇を期待する。また、持続可能な社会に貢献する為に、社員一人ひとりがSDGsの目標推進と二酸化炭素排出量の削減等の達成に向けて行動してください。

次年度以降の目標・取組・環境経営システムをどのように変更すべきか検討し、問題点を明確にすることにより、来期以降の活動に反映させる。

次年度以降の活動等の見直し		
1. 環境経営方針の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
2. 環境経営目標の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
3. 環境経営計画の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4. その他変更の必要な項目等	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無

令和 5年 3月 10日
ガーディアンジャパン(株)
代表取締役 小松 正幸